

様式第2号

<p>視察研修先</p>	<p>県立新庄病院</p>	<p>氏名</p>	<p>後藤 健一郎</p>
<p>視察研修項目</p>	<p>改築整備に至るまでの経過及び改築整備の内容について</p>		
<p>感想・所見など</p> <p>建物の老朽化の解消と最上地方の基幹病院を整備するために、令和5年10月1日開院をめざし、現在、新庄市金沢地内への移転改築工事を進めている山形県立新庄病院。地域救命救急センターおよび夜間休日診療所の設置に加え、診療科は旧病院の18科に精神科・心療内科等が新設されて27科と増え、災害拠点病院としての機能を果たすために、地上ヘリポートも整備される。</p> <p>新病院は総事業費約200億円で、合計325床（地域救命救急センター10床、一般病床261床、地域包括ケア病床50床、感染症病床4床）で、地上6階建て延床面積25,818平方メートル、約850台分の平面駐車場を含め敷地面積55,582平方メートルと、実際、現地の建設現場を視察させていただき、かなり大きな病院であることを目の当たりにした。</p> <p>寒河江市は山形市にある県立中央病院と高速道路で結ばれており、非常にアクセスがいいが、最上地方はそうはいかない。そのため、重点を置く診療分野・主要な診療機能として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①救急医療地域救命救急センターの設置 ②がん医療（地域がん診療連携拠点病院としての機能強化） ③心疾患・脳血管疾患（高齢化に伴い、患者数の増加が見込まれる疾患への対応強化） ④小児・周産期医療（最上地域唯一の分娩取扱い医療機能の維持） ⑤総合診療（総合診療科の増設、専門医の育成による診療機能の充実） ⑥災害医療等（災害拠点病院及び感染症指定医療機関としての機能） <p>を上げており、やはりこれらを満たす病院となると、このような大きな病院にならざるを得ないと思った。</p> <p>やはり最上地域唯一の基幹病院としての機能を備えた施設整備・救急医療の向上のため、施設面はもとより、医師不足解消に向けて、大変ご苦勞をされたとのことだった。</p> <p>視察をさせて頂いて、唯一気がかりだったのは、約200億円という建設費用。</p> <p>現在、どの自治体病院も抱えている問題ではあるが「建物の生涯」にかかる費用、いわゆるライフサイクルコスト（LCC）を考慮すると、初期費用としてかかる建設費は、全体の約2割程度と言われる。つまり、光熱水費、保全費、修繕・設備等更新費、一般管理費等で約800億円かかる計算となる。病院建築の生涯寿命はおよそ40年と言われるので、単純計算で毎年20億円程度の予算を見込んでおかないといけないということになる。</p> <p>高齢化で医療費が上がり、少子化で税収が減るといふ、病院経営は、これまでにない非常に難しい時代を迎えている。</p>			

様式第2号

視察研修先	米沢市立病院	氏名	後藤 健一郎
視察研修項目	建替整備に至るまでの経過及び建替整備の内容について		
感想・所見など			
<p>寒河江市立病院は、1973年に完成しており、築およそ50年を迎える。市立病院は、いざという時の市民の心のよりどころであるが、老朽化が進んでいる上、医師不足による診療科減となっており、さらには、少子高齢化や人口減少等の時代背景も相まって、喫緊の課題となっている。</p> <p>しかしながら、非常に大きなハコモノである上、県主導による西村山地域医療提供体制が検討されているために、すぐに結論を出すことはできない。</p> <p>そこで、私達、市立病院検討特別委員会では、今回、新病院建設中の米沢市立病院（オンライン）と山形県立新庄病院を視察させていただいた。</p> <p>令和5年秋開院予定の米沢市立病院最大の特徴は、市内の別な場所にあった民間の三友堂病院（こちらも同時開院予定）が敷地内に建設されたことだ。</p> <p>両病院は、それぞれ別の法人として独立しており、新病院建設費用もそれぞれの法人で負担している。また、両病院を繋ぐような形で調剤薬局やレストラン、コンビニなどの施設が入る「アメニティーセンター」も開設予定で、この部分は、また別な民間会社が運営を予定しており、両病院はテナント料を負担するとの事だった。</p> <p>同敷地内に建設されおり、なおかつアメニティーセンターで連結されているので、ほぼ合併に近い形にはなっているが、高度急性期や急性期など、医療のニーズが高く（診療密度が高い）多くの医療資源を必要とする患者に対しては、米沢市立病院が対応し、回復期のリハビリや緩和ケア、地域包括ケア等、急性期を経過した患者に対しては、三友堂病院が対応するという、かなり特殊な例ではあるが、地域の医療連携という点においては、極めて優れた手法であると思われる。</p> <p>また、今後の為に、建設の発注方式も伺った。基本設計は設計者に発注し、実施設計の段階から施工者の専門的な知見やノウハウを活用し、かつ、落札不調による事業計画の遅延を防止するため、実施設計DB（デザインビルド）方式、またはECI（アーリーコントラクターインボルブメント）方式のどちらかで行う事とし、施工予定者選定公募型プロポーザル評価委員会において、ECI方式を採用することが決定したとのこと。オフィスビルなどと違い、病院建設は、かなり特殊性があることから、施工者が、実施設計に携わることができるECI方式となったそう。</p> <p>まずは、この2病院間でしっかりと連携をとり、市内の医療連携、地域の医療連携、他地域との医療連携と医療連携の輪を広げていくとの構想は納得だった。</p>			